

令和6年度 第4回浦河警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年2月25日(火) 午後2時0分から午後3時30分までの間

2 開催場所

札幌方面浦河警察署 大会議室

3 出席者

(1) 警察署協議会委員 7人(定員7人)

会 長	米 山 豊
副 会 長	田 中 正 人
委 員	三 好 昭 弘
委 員	神 林 邦 仁 子
委 員	渡 邊 摩 美
委 員	西 川 奈 緒 子
委 員	荒 木 ゆ かり

(2) 警察署(5人)

署 長	田 村 聡 憲
副 署 長	義 川 武 利
刑事・生活安全課長	浅 岡 竜 介
地域・交通課長	伊 藤 健 太 朗
警 務 係 長	

4 開催状況

(1) 会長挨拶

(2) 署長挨拶

- ・サイバーセキュリティ月間における取組
- ・北海道警察官採用募集広報

(3) 浦河署業務概況について

署長説明

(4) 諮問事項『検視』について

ア 前回協議会での諮問事項に対する委員からの要望・意見内容

ニュースや新聞などで有名人・著名人が自宅やホテルなどで亡くなったと報道等で見聞きしたことがある。

凶悪事件や悲惨な交通事故は頻繁にニュースなどで取り上げられるが、このように室内などで亡くなっている事案は、著名人以外で知ることはない。

実際のところ、警察署では多くの遺体を取り扱っているとのことから、検視について説明を願いたい。

イ 署長説明

(7) 検視の目的

検視は、死体及び現場の状況、裏付け捜査等の結果を総合的に検討し、その死因が犯罪に起因するか否かを判断するとともに、犯罪に起因すると認められる場合は、速やかに捜査を開始し、事件事故の真相を明らかにすることを目的としている。

(イ) 北海道及び浦河警察署管内における死体取扱・死体解剖数

令和6年中の北海道内における死体取扱及び死体解剖数については、死体取扱9,522件、死体解剖984件であり、当署管内においても死体取扱及び死体解剖は年々増加傾向にある。

(ウ) 検視要請

医師法では、医師が明らかな病死と判断した場合以外で、異状死と判断した場合には24時間以内に警察に届出する義務が定められている。

検視要請は、病院からの要請のほか、救急隊員が死亡と判断して不搬送と決定した場合も含まれる。

(イ) 警察における死体取扱いの流れ

警察官は、死体発見等に伴う通報を受けた場合、現場臨場し、現場の観察、関係者からの聞き取り、遺体の外表観察、各種検査及び各種照会を実施する。

明らかな犯罪死又は犯罪の可能性が認められた場合は、刑事訴訟法に基づき司法解剖を実施し、法医学者等の意見を聴取して死因を明らかにするために特に必要があると認めるときには、死因・身元調査法に基づき調査法解剖を実施する。

また、犯罪との結びつきが考えられないが死因が特定できない場合には、遺族の承諾を得た上で死体解剖保存法に基づき行政解剖を実施する。

各種捜査を行い、事件性の有無が判明したことをもって、遺族へ遺体の引き渡しとなる。

(5) その他の要望・意見と警察の説明

ア タイヤ脱落事故の原因について

(委員)

先月末に、えりも町内で軽トラックのタイヤが脱落する事故が発生したが、その原因等について説明を願いたい。

《警察》

令和6年中の北海道内におけるタイヤ脱落事故の認知件数は60件である。

当署管内においては、本年1月29日に国道を走行していた軽四輪貨物自動車の右後輪が外れ、付近の倉庫シャッターに衝突する物件交通事故が発生している。

本件の事故原因として明確な原因は特定できないが、外れたタイヤの状況を確認したところ、ボルトにナットが全て付いており、鉄製ホイールの内側が抜け落ちていたことから、サビなどによる腐食が要因として考えられる。

タイヤ脱落事故を防止するためには、定期的にナットの緩みなど取付け状況を確認するほか、走行中に異音や違和感を感じた場合は、運転を中止し点検を行うことに留意する必要がある。

イ 高校生のヘルメット着用について

(委員)

管内において、小・中学生のヘルメット着用は浸透しているが、高校生の着用率が低く感じる。

警察から教育機関に指導や啓発を実施しているのか知りたい。

《警察》

当署では、高校生のヘルメット着用を向上させるために、

- ・自転車のヘルメット未着用者に対する街頭指導
- ・学校や各種行事などを通じた交通安全講話における普及啓発
- ・自治体が主催する各種会合において、ヘルメット購入者への補助金を検討することに関する意見の申出

を実施している。

ウ 認知症高齢者の徘徊及び捜索について

(委員)

認知症を患う高齢者による介護施設等からの離脱や自宅からの行方不明など、これまで浦河警察署で対応した中で、早期発見した案件や捜索上のポイントについて知りたい。

《警察》

令和6年中、当署管内において一般の家庭から行方不明となった事案は数件あり、大半が独居高齢者で占めている。

警察では行方不明を認知した際、行方不明者の身体特徴や着衣などを親族等から聴取し、現場警察官に手配して捜索するほか、その者の年齢、行動範囲及び状況などを検討し、生死の危険性が高いと認められた場合は、警察犬や航空機を要請している。

エ マイナ免許証について

(委員)

本年3月に運転免許証とマイナンバーカードの一体化運用が開始されるとのことだが、これによるメリットとデメリットについて教示を願いたい。

《警察》

免許情報記録個人番号カード、いわゆるマイナ免許証については、本年3月24日から運用が開始される。

一体化によるメリットとしては、

- ・警察でマイナ免許証の登録を完了すれば、以後の氏名、住所の変更が自治体への届け出で可能となり、警察署における変更手続きが不要となる
- ・オンラインによる更新時講習が可能となる（違反講習を除く）
- ・出稼ぎや他の勤務地へ出向、派遣となった場合などにおける住居地以外での更新処理の迅速化

・更新費用が安価となる
など、従来までの更新手続と比較して、移動距離や費用面で利点がある。

一方、デメリットとしては、

- ・マイナ免許証のみを所有していた場合にこれを紛失すると、自治体を通じた再発行が必要となり、手続に2、3週間の時間を要すると聞いている
- ・従来の運転免許証では券面に有効年月日、免許種別等の情報が記載されていたが、一体化により確認できなくなる

などが考えられる。

オ YouTubeを活用したCM公告の可否について

(委員)

各種啓発を行う上で、高校生をはじめ若者向けにYouTubeのCM公告を活用すると効果的な広報啓発につながると思うが、可能なのか知りたい。

《警察》

北海道警察においては、YouTube公式チャンネルを開設し、各種広報啓発をタイムリーに実施しているところである。

CM公告活用に関する可否については、主管部門に確認の上、次回の協議会において回答としたい。

(6) 次回の諮問事項について

本年6月に警察署協議会の一斉改選を予定しているとのことから、諮問事項については改めて決定した上で、警察に説明を求めるものとする。

(7) 警察署協議会の開催予定について

次回の警察署協議会は、令和7年6月の予定とする。

以 上